

# 令和6年一番茶萌芽宣言

—令和6年一番茶萌芽と防霜対策の徹底について—

令和6年4月2日  
京都府農林水産技術センター  
農林センター茶業研究所

## 1 本年の一番茶萌芽宣言

1～2月の平均気温は平年よりやや高く推移しました。3月は第5半旬まで平年より低く推移しましたが、第6半旬から平年より高く推移したことで、本年の一番茶萌芽宣言は、平年より2日早い4月2日となりました。

### ◆萌芽宣言：前年、平年との比較

令和6年	令和5年	前5か年平均	平年
4月2日	3月28日	4月1日	4月4日

平年：平成6年から令和5年までの30年間の平均

### ◆本年の気象推移（参考 - 図2参照）

#### 【平均気温】

平年と比べ1月から2月までは平年並からやや高く推移した。3月は平年と比べ低く推移した。

平年差 1月：+0.6℃、2月：+1.5℃、3月：-0.7℃

#### 【降水量】

平年と比べ1月は少なく、2月は平年並み、3月は多かった。

平年比 1月：56%、2月：114%、3月：166%

### ★お茶の『萌芽』

春になると、包葉の中から芽が伸びてきます。芽の先端が包葉の約2倍に達した状態（図1参照）を『萌芽』としています。

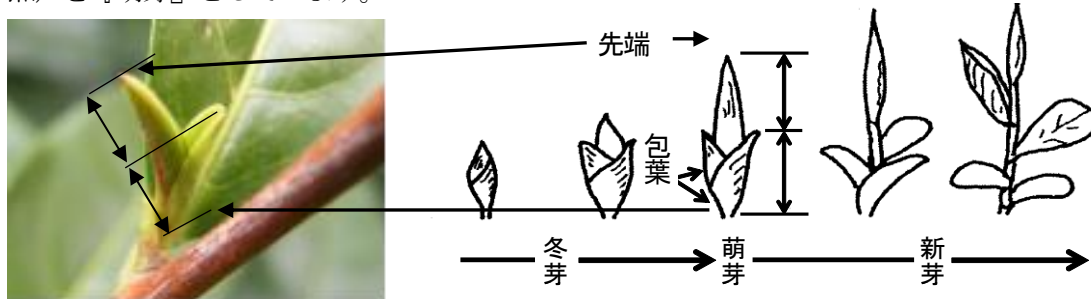


図1. 左：『萌芽』したお茶の芽 右：冬から春にかけての茶新芽の生長

### ★「萌芽期」と萌芽宣言

萌芽した芽の割合が70%に達する時期を「萌芽期」と言います。萌芽宣言は、当所作況園の萌芽調査結果から「萌芽期」を予測して、日付を決定しています。

## 2 今後の天候情報と茶園管理について

大阪管区气象台から令和6年3月28日14時30分に発表された高温に関する早期天候情報（近畿地方）によると、4月4日頃から9日にかけて平年より2℃以上の高温が予想されています。今後は気象庁等の予報を十分に意識し、以下のことに気をつけてください

### (1) 茶園管理について

今後、茶の新芽が順調に生育することが予想されることから、特に被覆の開始時期が遅れないように、周到に作業を進めてください。

(2) 低温への対応について

茶の新芽は生育に伴い耐凍性が急速に失われるため、晩霜害の被害に留意する必要があります。特に移動性高気圧に覆われる日は、日中が暖かなくても夜間の冷え込みが厳しくなり晩霜に見舞われる危険性が高くなります。**霜注意報**や**予想最低気温**に注意して防霜対策を徹底してください。

◆主な対策

**防霜ファン**：使用前に点検を済ませ、最大限の効果を得るために設定温度5℃を目安に稼働

**棚被覆**：翌朝の降霜が予想されている日の夕方に行う

**スプリンクラー散水**：使用前に点検を済ませ、摘採面温度2℃を目安に稼働

〈参考〉

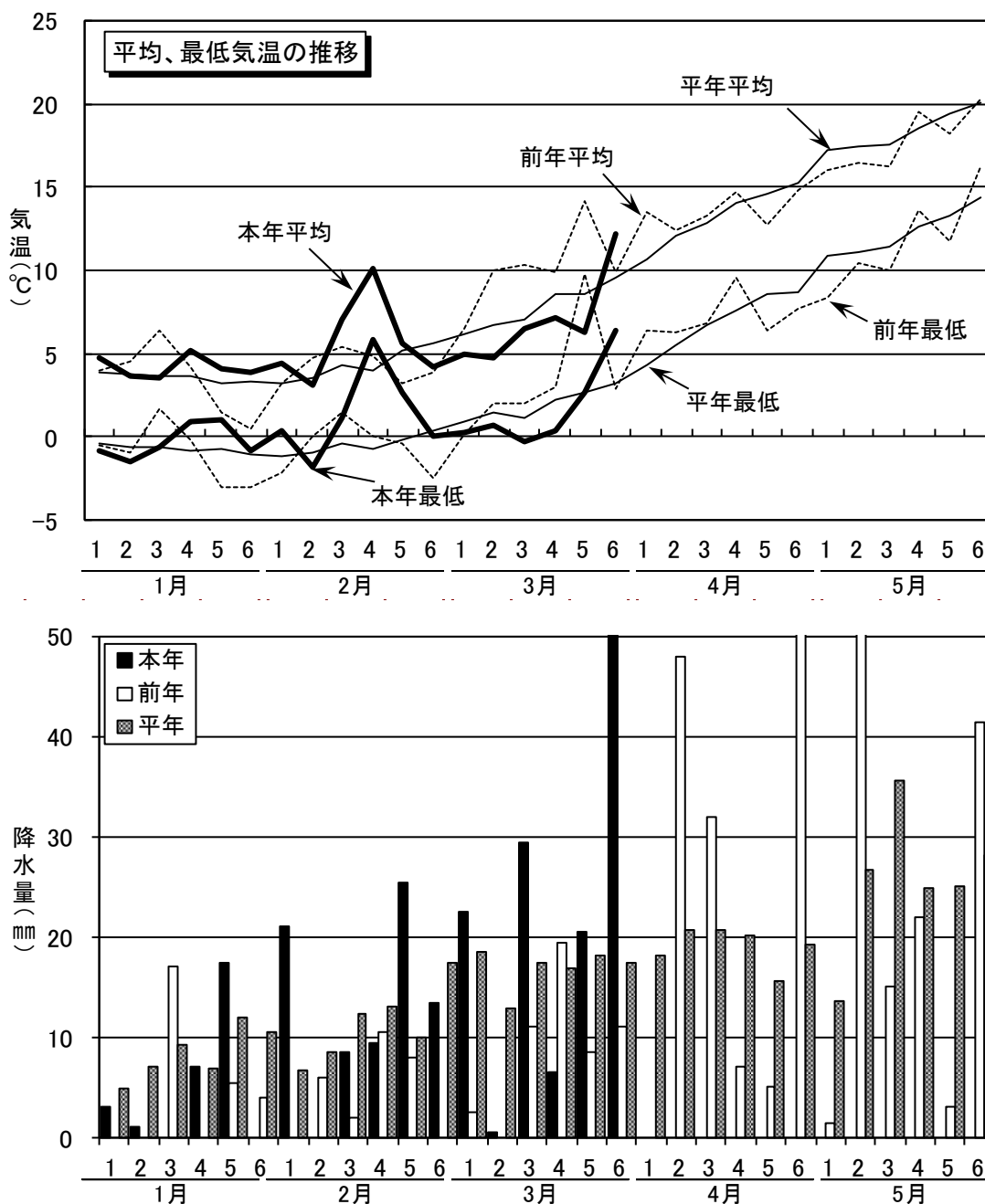


図2 令和6年冬季～春季の気象推移(平均気温、最低気温、降水量)

1) 平年値は、平成6年から令和5年までの平均値(30年間)、自動気象観測装置のデータから平均値を算出

2) 観測場所は、農林センター茶業研究所(宇治市白川中ノ菌1番地)

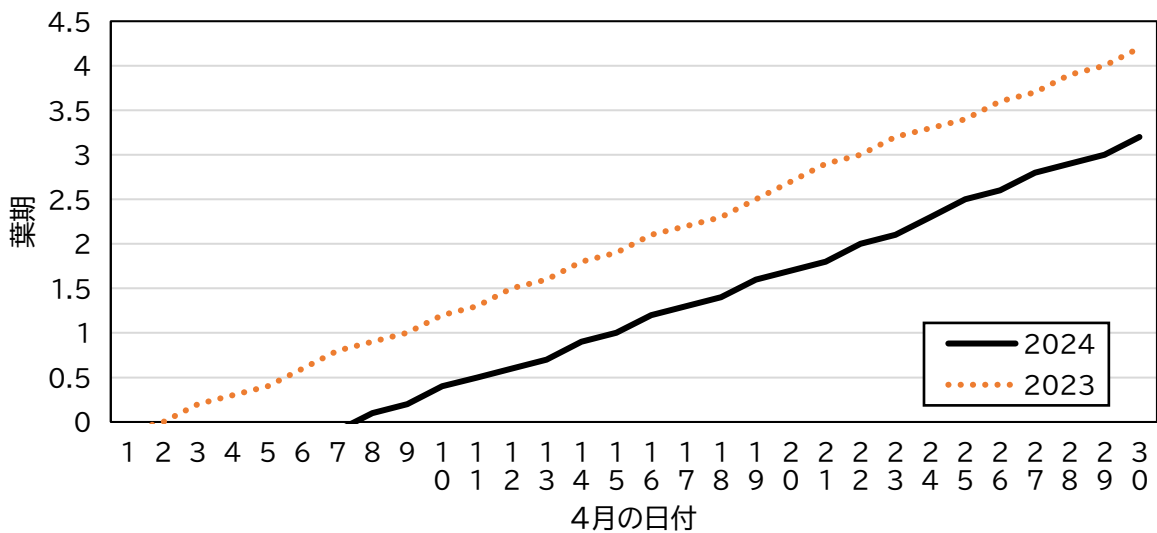
表 1月～3月の平均気温及び降水量並びに萌芽宣言日及び摘採日

期間	平均気温(°C)			降水量(mm)			萌芽宣言 (月日)	摘採日 (月日)	生育日数 (日)
	1月	2月	3月	1月	2月	3月			
2024年	4.2	5.8	7.1	29	78	169	4月2日	-	-
2023年	3.4	4.2	10.1	27	27	53	3月28日	4月28日	31
平年	3.5	4.2	7.8	51	64	101	4月4日	5月6日	32
前5か年	3.5	4.3	8.8	31	29	84	4月1日	5月4日	33
萌芽宣言最も早い2023年	3.4	4.2	10.1	27	27	53	3月28日	4月28日	31
萌芽宣言最も遅い1996年	3.4	2.3	6.3	50	42	179	4月11日	5月16日	35
〃 2005年	4.0	4.5	7.3	43	71	98	4月11日	5月7日	26

- 1) 京都府茶業研究所調べ
- 2) 平年は1994年から2023年の平均値
- 3) 萌芽宣言の早さは1994年以降の記録
- 4) 摘採日は京都府茶業研究所内作況園自然仕立て(「やぶきた」手摘み)の摘採日
- 5) 生育日数は萌芽宣言翌日から摘採日までの日数

### ◆新芽の葉期予測

当所園内の「やぶきた」機械摘みにおいて、4月1日時点では、本年の新芽が1.0葉期になるのは昨年と比べて6日遅い4月15日と予測しています(昨年4月9日)。  
 ※生育予測園は作況園とは別の茶園で実施しています。



	1.0 葉期	1.5 葉期	2.0 葉期
2024年	4月15日	4月18日	4月22日
2023年	4月9日	4月12日	4月15日

図3：葉期の予測結果

### ◆茶生育等予測マッピングシステムによる摘採期予測

茶生育等予測マッピングシステムでは、茶園毎に気温を推定できるモデルを構築(山城地域、中丹地域、丹後地域で使用可能)し、加えて推定された気温に基づいて生育予測モデルを作成しています。この生育予測モデルを用いることで、摘採期などの予測も可能となります。  
 上記生育予測園の本年の摘採期は、昨年と比べて5日遅い5月9日頃と予測しています(昨年5月4日)。